

が)、オス同士が木にぶらさがって行うペニスフェンシング等が観察されています。

一方多妻のゴリラは大人オスがあぶれるため、あぶれた大人同士のいわゆるホモが観察されていますが、レスビアンは人間とボノボにしか見られないとのこと。何故このような行動を取るのか。基本的には気持ちが良いからなのでしょうが、それだけでは説明が付きません。多分性行為を通し、お互いの緊張を和らげるとか仲間意識を高めるとかなのでしょうが、結果的に群れを平和に保つ事に役立っているのではないのでしょうか。従来、生殖から離れて性行為を楽しむのは人間だけの特権かと思われてきましたが、こんな所にもルーツがあるようです。

以上、日本ザル、チンパンジー、ボノボの生態のほんの一部を紹介致しましたが、高等になるにしたがい食べ物の分配、挨拶、性行為等行動も多様化していますし、個性も豊かになります。チンパンジーの政治的行動に見られる様、悪智慧もついてきますが、一方で弱い者をかばい、仲良く暮らすための方法を考え出し、平和的に暮らしているのです。人間も本来平和的な生き物だったはずですが、富の蓄積がオリの中の日本ザルがそうであったように食べ物やメスを奪い合うような競争社会をもたらしたのではないのでしょうか。

◎ 出席報告

|        |     |             |       |        |         |
|--------|-----|-------------|-------|--------|---------|
| 会 員 数  | 66名 | 出<br>席<br>率 | 函 館 北 | 11月4日  | 84.13%  |
| 出 席    | 40名 |             | 函 館 東 | 11月3日  | 祝日休会    |
| 欠 席    | 26名 |             | 函 館   | 10月29日 | 85.98%  |
| 他クラブ出席 | 13名 |             | 函館五稜郭 | 10月30日 | 100.00% |
| 出席合計   | 53名 |             | 函館亀田  | 11月2日  | 85.19%  |
| 除 外 者  | 3名  |             |       |        |         |

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話23-2377番

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 次回・12月2日<br>プログラム | 「 年 次 総 会 」 |
|-------------------|-------------|



# 函館北ロータリークラブ会報

1998~99年度 国際ロータリーテーマ

## ロータリーの夢を追い続けよう

### FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

新 博夫会長テーマ『明るく、楽しいロータリー』



11月18日会員卓話 七尾 衛 会員

## 《第1706回例会》 第20号 11月25日(水)

### 本日のプログラム

#### 「空の玄関・函館空港」

運輸省東京航空局・函館空港長 高橋 幸雄 氏

★会 長 新 博 夫 ★幹 事 小笠原 孝

1998～1999

〈第1705回例会〉第19号

11月18日の記録

◎司 会 新 博夫 会長 ◎斉 唱 手に手つないで

◎ピジター 函館R.C. 木村弘志君・池見厚一君・森川順治君・松本 正君、  
函館東R.C. 松井久男君・小野孝良君・斎藤多実司君、函館五  
稜郭R.C. 田村政志君、函館亀田R.C. 坂本幸市君

◎会長報告 新 博夫 会長

- 1999年8月からアメリカへの交換学生として、当クラブ藤野会員のお嬢さんが決まりました。
- 11月28日・29日開催のローターアクト年次大会と北部RAC20周年に参加をお願いします。

◎幹事報告 小笠原 孝 幹事

- ロータリー適用相場が12月1日より、現行125円から118円に変更になります。
- 舞鶴R.C. 田中会員より、まんが「地球を救う海藻エネルギー」と題する本の贈呈がありました。回覧します。
- 台北東北R.C. より週報が届きましたので回覧します。
- 他クラブ例会変更 11月26日上磯R.C. 移動例会に変更です。

◎親睦活動委員会 加藤 清郎 委員

ニコニコBOX投入報告

金子会員・松見会員・小笠原会員・森(務)会員・久保会員・島本会員・  
小池会員・椎谷会員……お寒くなりました。BOXに協力。  
三沢 会員……スキーで函館新聞に出ました。  
加藤(務)会員……三沢先生から強要されました。  
南木 会員……クリスマスファンタジーよろしく。  
中野会員・竹野会員・大村会員……お寒くなりました。  
大西 会員……欠席がちのお詫び。

◎会員卓話 「猿の生態から学ぶ」 七 尾 衛 会員

卓話のお話を頂戴した時に、題材を何にしようかと正直申しまして非常に迷いました。

そんな折ある先輩から 立花 隆の「サル学の現在」という一冊を紹介さ

れました。

人と動物とは本質的にどこで区別されるのか？ 人間性とは何か、何が人間的であり何が動物的呢か。このような問いに答えようと思ったから人はサルに学ぶしかありません。サルの何たるを知ったときに始めて人の何たるかを知る事が出来ると言えます。このような意味においてサル学とはサルの学問であると同時に人間学でもあると言えると思います。

### 1. サル学の歴史

野生のサルの行動、生態を学問的に研究しようとする動きは、1920年代から欧米の学者によって2～3例行われたようですが、本格的にスタートしたのは昭和23年東京大学の今西錦司氏等が宮崎県の幸島と大分県の高崎山で野生のニホンザルの監察を始めたのがサル学の始まりと言われております。もっともその発端は彼らが動物の群れの研究の為、宮崎県の都井岬に馬の監察を行ったのが始まりです。ところが馬を監察していても草を食べているばかりでちっとも面白くない、馬の個体間の動きや変化がほとんど無い。そんな時たまたまサルが遊びに来ていて非常に豊かな表情をする。こちらのほうが面白そうだということで研究を始めたそうです。昭和28年には餌付けに成功し、彼らは個体識別と餌付けという独特の研究方法を編み出して次々と世界のサル学者を驚かせる成果を挙げていきました。

[サルの世界には順位と縄張りによって秩序付けられた社会構造がある。サルのあいだには社会的コミュニケーションが成立している。サルにも文化があり、文化は社会的に伝承されていく。といったそれまで考えられもしなかったことが発見されていったのです。]

昭和31年には京都大学霊長類研究所グループは名鉄の支援を得て世界で始めてサル専門の研究機関として日本モンキーセンターを設立しています。又最近では餌付け郡よりも野生郡に研究の主体を移し、尾久島、金華山、下北半島等のフィールドで研究を続けております。

類人猿については昭和33年からゴリラ学術調査隊が、昭和36年からチンパンジー学術調査隊がアフリカへ出かけ、研究を継続しています。フィールドでサルの行動を動物行動学的に研究する他に多方面からのアプローチによりサルの研究がされておまして、その一部を簡単に紹介しますと、例えば

- ・チンパンジーに言葉や数字を学習させる研究  
数字で1ケタ、言葉で100語位まで可
- ・サルの脳の研究 脳の色々な場所に電極を差し込んで反応を調べる
- ・類人猿から類人への進化過程を明確にする為に化石の研究
- ・サルの血液を生化学的分析  
ヘモグロビンの蛋白質構造等により遺伝距離を推定

・遺伝子のDNA分析により遺伝距離、親子鑑定

以上のような幅広い研究で、現在最も知的で活発な分野となっております。

## 2. 日本ザルの社会

### 1) ボスザルは存在しない

サル社会は上から下まで順位制によって貫かれており、その頂点に立つボスザルは日常的に群れを引き連れ、敵に遭遇すれば先頭に立ってこれと戦い、内部でいざこざが持ち上がればこれを取り締まる等、ほぼ人間社会のボスに近い行動を取るものとされてきました。

その後の野生群の研究等から群れの統率者としてのリーダーはサルの社会には存在しない事が解ってきました。勿論群れの中には体格が大きく、喧嘩も強く一目置かれているオスザルがいることは確かですが、群れの中でリーダーシップを発揮して群れ全体を動かしているのではない。群れ支配の事実はないという事です。

サルの社会には確かに順位がありますが、野生の中ではあまり意味を持ちません。なぜなら餌は薄く広く分布しているので自分で独占することはできないし、性行動に於てもサルの社会は乱交で、発情したメスは一日に何匹ものオスと交尾を繰り返しますから独占しようと思っても身が持ちません。

自然界の中では初めから争いが生じないよう住み分けており親和的な社会だそうです。ボスザルの存在というのは、餌付けしていた最初の監察者が、サルの社会に人間社会を投影させて人間社会そっくりのボス支配の構造を見てしまい、それがいかにもと思わせる事があったので、その見方がずっと踏襲されてきたという事です。

### 2) 日本ザルは母系集団

日本ザルの群れは母子関係の血縁集団の集まりで出来ており、家柄により順位があります。メスは生まれた群れに一生留まるが、オスは成人すると群れから出てゆき他の群れへ移るか群れ落ちして一匹で暮らすようになります。そして又何年かすると別の群れへ移動します。このようにオスが群れを移動する事により近親交配を避けています。

### 3) DNAフィンガープリント法による父子鑑定

動物園等のオリの中で飼われている群れの場合は、いわゆるボスザルが力の弱いサルの交尾を邪魔する為、ボスザルの交尾の回数も圧倒的に多い事になりますが、この場合でも血の凝縮はあまり起こらないようです。飼育群における交尾の回数と父親になる確率をDNAフィンガープリント法で調べたところ、父親になる確率は回数とは無関係であったとの事です。回数が多いと濃度が薄く確率も低くなってしまいます。

### 4) 得意的近親関係（仲の良い異性とは交尾しない）

日本ザルには交尾期と非交尾期があり、その生活は全く異なります。交尾期は地方によって若干異なっているようですが、概10月から4月までのようです。交尾期のオスはメスの尻を追いかけて暮らします。しかし交尾期を過ぎるとオスもメスも性的関心を失います。非交尾期の間、オスはオス、メスはメスの世界に閉じこもっているものとかっては思われていました。

## 3. チンパンジーの社会

類人猿における社会構造は、ゴリラは一夫多妻、手長ザルは一夫一婦制、オラウータンは一匹で孤独な生活をしていますが、チンパンジーは数十頭で群れを作っています。

チンパンジーの性行動は日本ザルと同じように乱交ですが、季節的な発情は無く40日位の周期で10～15日は発情します。日本ザルと異なりオスは一生生まれた群れに留まりメスが成人すると群れを出ていきます。動物では父系集団は珍しく、人間、チンパンジーの他にリカオン等極一部にしか見られません。

### 1) チンパンジーの政治的行動

チンパンジーの知能の高さを示すものとして、道具の使用、植物の分配、複雑な挨拶行動の他政治行動を取る事が観察されています。これは順位1位のオスと2位のオスがいわゆるボスの座を争っている時に、順位3位のオスがある時には1位に味方し、ある時には2位に味方をし自分がキャスティングボードを握る事により良い目をみようとす行動です。どこかの政党と良く似ています。

### 2) チンパンジーの子殺しと共食い

動物の子殺しは一夫多妻の社会でオスが交替した時にみられます。これはメスが子育て期間中発情しないため、前のオスの子供を新しいオスが殺し、メスの発情を促し自分の遺伝子を残そうという行動と説明ができますが、チンパンジーは集団での乱交社会ですからこれらとは異なります。

## 4. ボノボの社会

ボノボはチンパンジーと良く似ている為、ピグニーチンパンジーとも呼ばれていますが、動物学的には別の種類だそうです。過日NHKで放送していたようですが、大変知能が高く、人間に教育されたボノボでは1000語位の言葉を理解でき、人間の命令により薪を拾い集めて細かく折り、人間のポケットからライターを取り出し火を付けるそうです。そして最後にはポリタンクの水をかけ火を消す行動まで出来るという事です。

通常の交尾の他、尻と尻とを付け合う尻付け、メス同士が正面から抱き合って恥部をこすり合う性器こすり（ホカホカと呼んでいるそうです）